

## 参考文献（書籍）

- 青柳文雄 『(続) 犯罪とわが国民性』(一粒社、1973)。  
芦部信喜 『憲法〔新版補訂版〕』(岩波書店、1999)。  
荒畑寒村 『日本社会主義運動史』(毎日新聞社、1948)。  
粟屋憲太郎 『昭和の歴史(六)~昭和の政党~』(小学館ライブラリ -、1988)。  
安藤福郎 『カジノ合法化の時代 地方分権と福祉財源に』(デ・タハウス、1997)。  
安藤良雄 『昭和史への提言(1)~(5)』(原書房、1993)。  
アーネスト・サトウ/坂田精一訳 『一外交官の見た明治維新』(岩波文庫、1960)。  
飯田経夫 他編 『現代日本経済史』(筑摩書房、1976)。  
池上俊一 『賭博・暴力・社交：遊びから見るヨーロッパ』(講談社、1994)。  
石原一彦 他編 『現代刑罰法大系 第4巻 社会生活と刑罰』(日本評論社、1982)。  
磯村英一、星野光男 編 『地方自治読本(第6版)』(東洋経済新報社、1990)。  
板垣守正 編 『板垣退助全集』(原書房、1969)。  
伊藤 耕源 『「パチンコ依存症」からの脱却 パチンコへの誤解と恐ろしい病にあなたは蝕まれている!』(すばる舎、1999)。  
伊藤由三郎 『「臨時資金調整法」解説』(成象堂、1944)。  
井上準之助論業編纂会 編 『井上準之助論業第三巻』(井上準之助論業編纂会、1935)。  
伊部政一 『統制経済論』(千倉書房、1942)。  
今井吉平 『日本馬政論』(有隣堂書店、1913)。  
岩崎徹 『競馬社会をみると、日本経済が見えてくる 国際化と馬産地の課題』(源草社、2002)。  
宇井延壽 『日本の競馬 法令等の変遷及び主要事項』(近代文芸社、1999)。  
梅村又次 他 『長期経済統計 13 地域経済統計』(東洋経済新報社、1983)。  
大石嘉一朗 『近代日本の地方自治』(東京大学出版会、1990)。  
大内兵衛 『日本帝国主義史 第3巻 第二次大戦期』(東京大学出版会、1994)。  
大蔵省印刷局 編集 『財政学第二部 地方財政論 昭和一二年度東京帝国大学経済学部講義』(文精社、1937)。  
大蔵省印刷局 編集 『改訂版 知っておきたい競馬と法』(大蔵省印刷局、1993)。  
大蔵省財政金融研究所財政史室 『大蔵省史 - 明治、大正、昭和 - (二)』(大蔵財務協会、1998)。  
大坂健 『地方公営企業の独立採算制』(昭和堂、1992)。  
大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』(東京大学社会科学研究所、2001)。  
大阪府自転車振興会・大阪競輪史刊行委員会 『大阪競輪史』(大阪府自転車振興会、1958)。  
大阪府自転車振興会 『競輪は果して社会禍の根源か』(大阪府自転車振興会、1958)。  
大塚仁 『刑法各論(下)』(青林書院新社、1968)。  
大友源九郎 編 『明治百年史叢書 馬事年史(一)~(三)』(原書房、1985)(日本競馬会1948年刊の複製)。  
岡崎哲二・奥野正寛 編 『現代日本経済システムの源流』(日本経済出版社、1993)。  
岡野進・矢野龍彦 『スポーツのはなし』(創文企画、1996)。  
河村清明 『馬産地ビジネス 知られざる「競馬業界」の裏側』(イーストプレス、2002)。  
貴族院 『帝国議会貴族院委員会速記録 明治編 19』(東京大学出版会、1987)。  
木村清司 『財務行政(上)』(常盤書房、1937)。  
共同通信社内政部 編 『地方財政危機の実態 - 再建への道を求めて - 』(第一法規、1976)。  
金原賢之助 『国防経済論』(日本評論社、1938)。  
蔵園進 『地方公営企業の研究』(法政大学出版局、1970)。  
倉茂貞助 『賭：サイコロからトトカルチョまで』(荒地出版社、1959)。  
競馬制度研究会編、編集協力農林水産省畜産局競馬監督課 『世界の賭けごと』(東洋経済新報社、1957)。  
競輪総覧刊行会 編 『よくわかる競馬の仕組み - 改正法施行後の新しい競馬制度 - 』(地球社、1992)。  
公営企業金融公庫 編 『競輪総覧』(競輪総覧刊行会、1970)。  
公営企業金融公庫 編 『公営企業金融公庫三十年史』(公営企業金融公庫、1986)。

- 公営企業金融公庫編集  
公営競技問題研究会
- 厚生省社会局編  
厚生省編  
小林章夫  
近藤隆之 自治大学校監修  
佐久間亮三、平井卯輔 編  
佐々木晃彦  
佐藤進 編・解説  
佐藤進、伊東弘文  
汐見三郎  
自治省財政局編
- 自治大学校編  
自治庁財政局編  
芝田清吾  
柴田敬次郎  
社会政策学会 編纂  
衆議院事務局  
神翁顕彰会編集  
神宮司庁  
柳田泉 編  
清少納言  
清野惇
- 関一  
関口尚  
全国競輪施行者協議会  
総務庁統計局  
竹中龍雄
- 田子一民  
田中啓一  
田中広太郎  
田中二郎  
溪内謙 その他編  
谷岡一郎
- 谷岡一郎・菊池光造 編著
- 谷岡一郎、菊池光造、萩野寛雄 編集  
谷岡一郎、仲村祥一編  
谷岡一郎、宮塚利雄 編集
- 地方競馬全国協会 編纂  
中央競馬ピーアールセンター
- 辻清明  
津島寿一
- 『公営企業金融公庫 20 年史』(公営企業金融公庫、1977)。  
『公営競技の現状と問題点 その 1』(公営競技問題研究会、1977)。  
『公営競技の現状と問題点 その 2』(公営競技問題研究会、1977)。  
『社会局参拾年』(厚生省社会局、1950)。  
『厚生省五十年史 記述編』(厚生省、1988)。  
『賭けとイギリス人』(筑摩書房、1995)。  
『地方公営企業』(学陽書房、1983)。  
『日本騎兵史(上)』(原書房、1970)。  
『公営競技の文化人類学 文化経済学ライブラリー』(芙蓉書房、1999)。  
『社会福祉古典叢書 五 田子一民・山崎巖集』(鳳書院、1982)。  
『入門租税論〔改訂版〕』(三嶺書房、1994)。  
『専売及官公業論』(日本評論社、1935)。  
『地方財政の仕組みとその運営の実態』(地方財務協会、1962、1966、1970、1975、1980、1987、1992、1996)。  
『自治用語辞典』(ぎょうせい、1988)。  
『地方財政の仕組みとその運営の実態』(地方財務協会、1959)。  
『競馬』(東文堂、1924)。  
『救護法実施促進運動史』(日本図書センタ -、1997)。  
『社会政策学会論業(四)市営事業』(同文館蔵版、1911)。  
『衆議院委員会議録 第 1-30 回』(衆議院事務局)。  
『続日本馬政史(一)~(三)』(神翁顕彰会、1963)。  
『古事類苑 45 武技部』(吉川弘文館、1999)。  
『明治政治小説集(一)』(筑摩書房、1966)。  
『枕草子』(日本文学研究資料刊行会編)(有精堂出版、1970)。  
『競輪の法的構造 - 公営競技の法的側面 -』(広島修道大学研究叢書(広島修道大学総合研究所、1985)。  
『都市政策の理論と実際』(三省堂、1936)。  
『地方競馬の一般理論』(自費出版、1997)。  
『参考資料 競輪と余暇利用等について -』(全国競輪施行者協議会、1974)。  
『日本長期統計総覧 第 3 巻』(日本統計協会、1988)。  
『地方公営企業論』(東京経済新報社、1965)。  
『地方公企業成立史』(大同書院、1939)。  
『市町村財政の実際其理論』(白水社、1918)。  
『受益者負担論 : 都市財政と開発負担の研究』(東洋経済新報社、1979)。  
『地方財政』(日本評論社、1930)。  
『行政法の基本原理解』(有斐閣、1950)。  
『現代行政と官僚制 下』(東京大学出版会、1974)。  
『ギャンブルフィーバー: 依存症と合法化論争』(中公新書、1996)。  
『ラスヴェガス物語: 「マフィアの街」から「究極のリゾート」へ』(PHP 新書、1999)。  
『カジノが日本にできる時 「大人社会」の経済学』(PHP 新書、2002)。  
『カジノ導入を巡る諸問題<1> アメリカにおけるカジノ合法化の社会的影響(事研研究)を中心として』(大阪商業大学アミューズメント産業研究所、2003)。  
『スポーツ振興くじ(toto)の研究』(大阪商業大学アミューズメント産業研究所、2002)。  
『ギャンブルの社会学』(世界思想社、1997)。  
『日本のギャンブル【合法編】~歴史・経済・法律・行く末~』(大阪商業大学アミューズメント産業研究所、2002)。  
『地方競馬史(一)~(三)』(地方競馬全国協会、1972-1974)。  
『近代競馬の軌跡: 昭和史の歩みとともに』(日本中央競馬会、1988)。  
『競馬法の変遷 30 年史』(日本中央競馬会、1992)。  
『日本官僚制の研究』(弘文堂、1952)。  
『芳塘随想 第九集』(芳塘刊行会、1962)。

- 帝國競馬協會編 『日本馬政史（一）～（五）』（帝國競馬協會、1928）  
 寺尾晃洋 『独立採算制批判：公企業研究の基本視角』（法律文化社、1972）  
 東京競馬倶楽部 『東京競馬会及東京競馬倶楽部史』（長森貞夫、1937）  
 東京市電気局編纂 『東京市電気局三十年史』（東京市電気局、1940）  
 東京都財務局 『東京都競走事業廃止対策報告書 - ギャンブル廃止のあゆみ -』（東京都財務局、1974）  
 東洋経済新報社編纂 『明治大正財政詳覧』（東洋経済新報社、1975）  
 内閣官報局 『帝国議会衆議院議事速記録 57』（東京大学出版、1981）  
 内事局編 『改正地方制度資料第三部』（内事局、1948）  
 内務省警保局編 『庁府県警察沿革史 1』（原書房、1973）  
 内務省社会局社会部 『本邦社会事業概況』（内務省、1928）  
 長島信弘 『競馬の人類学』（岩波新書、1988）  
 中村隆英 『日本経済 その成長と構造』（東京大学出版会、1978）  
 『明治大正期の経済』（東京大学出版会、1985）  
 『昭和経済史』（岩波書店、1986）  
 『昭和史（1）』（東洋経済新報社、1993）  
 『パチンコ遊戯と依存に関する調査 最終報告書2002年3月』（社）日本遊戯関連事業教会、2002）
- 日遊協遊技産業の在り方特別委員会編集 『日本競馬史（一）～（七）』（日本中央競馬会、1966～1975）  
 日本競馬史編纂委員会編 『日本の救貧制度』（頸草書房、1960）  
 日本社会事業大学救貧制度研究会編 『日本水道史 総論編』（日本水道協会、1967）  
 日本中央競馬会 編 『競馬百科』（みんと社、1976）  
 野口悠紀雄 『一九四 年体制 さらば「戦時経済」』（東洋経済新報社、1995）  
 野村晋一 『サラブレッド』（新潮社、1985）  
 長谷川昇 『博徒と自由民権 名古屋事件始末記』（平凡社、1995）  
 早坂昇治 『競馬異外史』（中央競馬ピーアールセンター、1987）  
 原朗 『日本の戦時経済 - 計画と市場』（東京大学出版会、1995）  
 日高嘉継 『浮世絵 明治の競馬』（小学館、1998）  
 日比野登 『財政戦争の検証：美濃部都政崩壊期の研究』（第一書林、1987）  
 平川宗信 『刑法各論』（有斐閣、1995）  
 福田徳三 『経済学全集（二）国民経済講話』（同文館、1925）  
 藤田武夫 『現代日本地方財政史（上）』（日本評論社、1976）  
 藤谷謙二 『地方財政論』（龍吟社、1944）  
 藤本保太 『日本の専売政策』（多賀出版、1990）  
 堀田至廣 『競馬及競馬法史』（帝国競馬協会、1936）  
 増川宏一 『賭博』（法政大学出版局、1980）  
 『賭博』（法政大学出版局、1982）  
 『賭博』（法政大学出版局、1983）  
 『賭博の日本史』（平凡社、1989）
- 升味準之輔 『日本政党史論 第五巻』（東京大学出版会、1979）  
 『日本政治史（三）政党の凋落、総力戦体制』（東京大学出版会、1988）  
 『分かりやすい競馬法入門』（中央競馬ピーアールセンター、1987）  
 『民衆政治講座（十八）地方財政論』（クララ社、1929）  
 『競馬社会の戦後史』（近代文芸社、1994）  
 『公法判例大系一評釈（上）』（有斐閣、1933）  
 『政策科学入門』（東洋経済新報社、1995）  
 『日本公企業史』（ミネルヴァ書房、2001）  
 『戦後官僚制の研究』（東洋経済新報社、1981）  
 『日本の行政 活動型官僚制の変貌』（中公新書、1994）  
 『カジノ新ビジネスが日本を救う 30 万人新規雇用、30 兆円売上を実現！？』（史輝出版、2002）  
 『都市財政の研究』（東京大学出版会、1993）
- 松尾良正  
 松永義雄  
 三木晴男  
 美濃部達吉  
 宮川公男  
 村上了太  
 村松岐夫  
 室伏哲郎  
 持田伸樹

- 本村凌二 『馬の世界史』(講談社現代新書、2001)。
- 安井英二 『公営事業論』(良書普及会、1927)。
- 安田伊左衛門 『馬匹改良論』(非売品、1917)。
- 柳田国男 『明治大正史 世相篇』(東洋文庫、1931)。
- 山口瞳 『草競馬流浪記』(新潮社、1987)。
- 山野浩一 『サラブレッドの誕生』(朝日新聞社、1931)。
- 山本雅男 『ダービー卿のイギリス：競馬の国のジェントルマン精神』(PHP 研究所、1997)。
- 余暇開発センター(1991より自由時間デザイン協会) 『レジャー白書』(余暇開発センター→自由時間デザイン協会、1985～)。
- 横浜市編集 『横浜市史 資料編 3』(横浜市、1964)。
- 吉岡健次 『現代地方財政論』(東洋経済新報社、1963)。
- 渡辺金一 『コンスタンティノーブル千年：革命劇場』(岩波新書、1985)。
- 渡辺精一 『入門地方財政論』(有斐閣ブックス、1993)。
- 吉田久一 『現代社会事業史研究』(勤草書房、1979)。
- Alan T. Peacock and Jack Wiseman *The growth of public expenditure in the United Kingdom*, Princeton University Press, 1961.
- Allen Guttmann *GAMES&EMPIRES*, Columbia University Press, 1994. 谷川稔他訳 『スポーツと帝国 - 近代スポーツと文化帝国主義 - 』(昭和堂、1997)。
- Bacon, Alice Mabel *A Japanese interior.*, Houghton, Mifflin and Company, 1893. 久野明子 訳 『華族女学校教師の見た明治日本の内側』(中央公論社、1994)。
- Blousson, Eduardo S. *El caballo de carrera en el mundo*. 日本中央競馬会 訳 『世界の競馬と生産：サラブレッドの誕生および各国における発展と現況』(日本中央競馬会、1978)。
- E.L. Hargreaves *The National debt*, E. Arnold & Co., 1930. 一ノ瀬篤、斎藤忠雄、西野宗雄 訳 『イギリス国債史』(新評論、1987)。
- F.M. Tegner *YOKOHAMA RACE CLUB 1862-1912, THE NIPPON RACE CLUB*; 鈴木健夫 訳 『日本レース・クラブ 50 年史』(日本中央競馬会、1970)。
- Henry Crosby Emery *Speculation on the stock and produce exchange of the United States*, Columbia University, 1896.
- Herbert L. Packer *The limits of the criminal*, Stanford University Press, 1968.
- Herodotus *Historiae*. (松平千秋 訳 『歴史』上中下(岩波書店、1971 2)。
- Homer *Iliad*. (呉茂一訳 『イーリアス(下)』(岩波書店、1958)。
- J・W・Kingdon *AGENDAS, ALTERNATIVES, AND, PUBLIC POLICIES 2/e* Longman, 1995.
- Liefmann, Robert *Genossenschaften und der Sozialisierung. 2. verb. Aufl.*, Stuttgart: E.H. Moritz, 1921. 『企業形態論』志摩象雄訳(下出書店、1922)。
- Milward Peter 別宮貞徳訳 『イギリス人と日本人』(講談社現代新書、1978)。
- Tacitus *Cornelius, Annales*. (国原吉之助訳 『年代記：ティベリウス帝からネロ帝へ(下)』(岩波文庫、1981)。
- Pierre Amoult *Les courses de chevaux*, Presses universitaires de France, 1962. (野村圭介 訳 『競馬』文庫クセジュ; 584(白水社、1975)。
- Willet Peter *The thoroughbred*, 日本中央競馬会訳 『サラブレッド』(日本中央競馬会、1978)。

## 参考文献(論文等)

- 阿利莫二 「税外負担と地方行政」『都市問題』第 63 卷 10 号(東京市政調査会、1973)。
- 石井隆一 「公営競技の現状と当面の課題」『地方財政』第 23 卷 3 号(地方財務協会、1984)。
- 板垣退助 「競馬論」(板垣守正編『板垣退助全集』収集)(原書房、1969)。
- 猪原正芳 「納付金制度と均てん化について」『地方財務』昭和 60 年 8 月号(ぎょうせい、1985)。
- 茨木広 「競馬法、自転車競技法等公営競技に関する法律の改正について」『地方財政』第 1 卷 7 号(地方財務協会、1962)。
- 岩城成幸 「低成長経済下における地方財政と公営ギャンブル」『レファレンス』No323(国立国会図書館調査立法考査局、1977)。

- 岩崎宣克 「競馬法の改正について」『地方財政』第4巻(地方財務協会、1965)
- 石見隆三 「公営競技収益金の均てん化に思う」『地方財政』第15巻3号財務協会、1976)
- 上林正矩 「投機および賭博に関する所説」『駒大経営研究』(駒沢大学経営研究所、1977)
- 大石嘉一郎 「昭和恐慌と地方財政」『近代日本の地方自治』(東京大学出版会、1990) 収集。
- 大坂健 「地方公営企業の経営思想(地方財政運営の思潮(主集))」『都市問題』第73巻11号(東京市政調査会、1982)
- 「地方公営企業における独立採算制の成立(上)(中)(下)」『都市問題』第75巻6~8号(東京市政調査会、1984)
- O市K生 「収益事業の施行者から見る均てん化問題」『地方財務』昭和51年11月号(ぎょうせい、1976)
- 岡野文之助 「都市財政に於ける公企業収入論/都市政策問題/都市経済及財政」『都市問題』第14巻3号(東京市政調査会、1932)
- 「戦争と地方財政」『都市問題』第25巻4号(東京市政調査会、1937)。
- 貝原俊民 「公営競技に関する法律改正に伴う、その後の動きについて」『地方財政』第1巻1号(地方財務協会、1962)
- 金武創 「財政システムとしてのサッカーくじ事業が抱える課題 - 情報化社会における地方分権モデルの視点から - 」『都市問題』第89巻12号(東京市政調査会、1998)
- 「日本のサッカーくじの課題と展望: 財政専売か Charitable Gambling か」『財政学研究』第27号(財政学研究会、2000)
- 加茂利男 「関一の都市改革思想と公共部門論 - 関大阪市長没五十年にあたって - 」(上)(下)『住民と自治』第273~4号(自治体問題研究所、1986)
- 賀屋興宣 「戦時財政の歩んだ道」安藤良雄『昭和史への提言』第3巻(原書房、1993) 収集。
- 菊地善信 「公営競技と地方財政」『自治実務セミナー(33-12)』(良書普及会、1994)
- 黒沼稔 「公営事業と住民の福祉」『都市問題』第47巻8号(東京市政調査会、1956)
- 桑田熊蔵 「都市ノ社会政策」『国家学会雑誌』第16巻3号(國家學會事務所、1902)
- 小池節郎 「公営競技収益金の均てん化について」『地方財務』昭和51年11月号(ぎょうせい、1976)
- 小暮得雄 「現代における賭博罪の意味をめぐって」『ジュリスト』No453(有斐閣、1970)
- 小谷文夫 「ギャンブルと刑法」石原一彦他編『現代刑罰法大系. 第4巻 社会生活と刑罰』(日本評論社、1982) 収集。
- 小林丑三郎 「市営事業収入の性質及原則」『都市問題』第7巻4号(東京市制調査会、1928)
- 小林悦夫 「公営競技収益金の均てん化に想う」『地方財政』第14巻9号(地方財務協会、1975)
- 榊原潤 「公営競技収益金均てん化に新しい流れ」『地方財務』昭和52年8月号(ぎょうせい、1977)
- 佐藤進 「『受益者負担』と応益原則」『都市問題』第60巻4号(東京市政調査会、1970)
- 「『受益者負担』と地方財政」『都市問題』第72巻11号(東京市政調査会、1982)
- 佐和良作 「カジノ導入の経済効果」谷岡一郎・菊池光造 編著『カジノ導入を巡る諸問題<1> アメリカにおけるカジノ合法化の社会的影響(事例研究)を中心として』(大阪商業大学アミューズメント産業研究所、2003) 収集。
- 鹽澤昌貞 「市営事業の経営に就いて」『都市問題』第7巻4号(東京市制調査会、1928)
- 汐見三郎 「受益者負担金と他の公課との関係」(「受益者負担性に関する論策 - 第二回全国都市問題会議に於ける討議一般 - 」『都市問題』11巻5号(東京市政調査会、1930) 収集)
- 「公益事業の現状と指導原理」『都市問題』第19巻4号(東京市政調査会、1935)
- 篠田伸夫 「地方公共団体における 収益事業の実施状況」『地方財務』昭和45年6月号(ぎょうせい、1970)
- 芝村篤樹 「関一 その思想と政策の概略」第80巻3号『都市問題』(東京市政調査会、1989)
- 志村哲也 「公営競技の現状」『地方財政』第14巻7号(地方財務協会、1975)
- 神野直彦 「馬場税制改革」『証券経済』第127号(日本証券経済研究所、1979)
- 「『日本型』税・財政システム」岡崎哲二・奥野正寛 編『現代日本経済システムの源流』(日本経済新聞社、1993) 収集。
- 「現代日本税制の形成過程(一)(二)」『経済学雑誌』第88巻2・3号、5・6号(大阪市立大学経済学会、1987)
- 神野直彦 「馬場税制改革案」『証券経済』第127号(日本証券経済研究所、1979)
- 杉本繁次郎 「宝くじの公益事業への助成等について」『地方財政』第3巻10号(地方財務協会、1964)。
- 須藤南翠 「緑蓑談」『明治政治小説集(一)』(筑摩書房、1966)

- 関一 「市営事業ノ本質」『都市問題』第7巻2号(東京市政調査会、1928)  
「下水道事業の経済」『都市問題』第7巻4号(東京市政調査会、1928)
- 高木鉦作 「知事公選と中央統制」溪内謙その他編『現代行政と官僚制 下』(東京大学出版会、1974) 収集。
- 竹中龍雄 「市営事業の限界に就いて」『都市問題』第18巻第1号(東京市政調査会、1934)  
「我國に於ける市営瓦斯企業の成立と其背景」『都市問題』第24巻第4号(東京市政調査会、1936)  
「我國に於ける市営市街電車企業の成立と其背景(上)(下)」『都市問題』第25巻第1~2号(東京市政調査会、1937)  
「都市公益事業研究の動向」『都市問題』第45巻第1号(東京市政調査会、1954)  
「地方公営企業の展開過程」『都市問題』第53巻10号(東京市政調査会、1962)  
「地方公営企業における独立採算制と料金問題」『都市問題』第66巻第5号(東京市政調査会、1975)
- 立川健治 「日本の競馬観(一)~(三)」『富山大学教養学部紀要』24巻1~2号、第25巻1号(富山大学経済学部、1991~2)  
「幕末~文明開化期の競馬一横浜・根岸競馬をめぐって」『富山大学人文学部紀要』第20号(富山大学人文学部、1994)  
「失われた競馬場を訪ねて 連載各回」『書齋の競馬』第1巻~14巻(飛鳥新社1994~2000)  
「鹿鳴館時代の競馬 一明治12~25年資料編」『富山大学人文学部紀要』第22号(富山大学人文学部、1995)  
「横浜の競馬 一1862~1878年 資料編」『富山大学人文学部紀要』第23号(富山大学人文学部、1995)  
「神戸居留地における競馬(一)~(二)」『富山大学人文学部紀要』第25、26巻(富山大学人文学部、1996)  
「文明開化に馬券は舞う 連載各回」『競馬の文化村「もきち倶楽部」メールマガジン』
- 田中啓一 「受益や負担論の系譜 - その概念の混沌 - 」『都市問題』第71巻6号(東京市政調査会、1981)
- 田中里子 「『さっかーくじ』阻止できず” 拝金 “ 文部省に怒り心頭」『日経ビジネス』1998年6/8号。
- 谷岡一郎 「地域社会における新産業デザイン - 地方自治体が公営カジノを誘致するための問題点とその対策 - 」『大阪商業大学論集』第102号(大阪商業大学商経学会、1995)  
「ギャンブルと法」(谷岡一郎、仲村祥一編『ギャンブルの社会学』(世界思想社、1997) 収集)  
「サッカーくじ収益金の配分方法について Voluntary Tax の財政学上の位置付けと中間配分組織:「金武創プラン」の具体化提言-」『大阪商業大学論集』第112-113合併号(大阪商業大学商経学会、1999)  
「宝くじは社会的弱者への税金か? JGSS-2000 データによるナンバーズ・ミニロトとの比較研究:『Friedman=Savage モデル』の日本における検証を兼ねて-」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』(東京大学社会科学研究所、2001)
- 玉城哲 「戦後改革」飯田経夫他編『現代日本経済史』(筑摩書房、1976)
- 千葉県地方 一部事務組合による収益事業の現状と問題点」『地方財務』昭和51年11月号(ぎょうせい、1976)
- 課財政係
- 中馬宏之 「“ 日本的 ” 雇用慣行の経済的合理性論再検討: 1920年代の日米比較の視点から」『経済研究』第38巻4号(一橋大学経済研究所、1987)
- 寺尾晃洋 「水道事業と公営原則」『関西大学商学論集』第24巻5号(関西大学商学会、1979)  
「地方公営企業の経営原則」『都市問題研究』第499号(都市問題研究会、1992)
- 寺脇隆夫 「救護法の成立と施行をめぐる経緯(上)(下)」『長野大学紀要』第19巻4号、第20巻1号(長野大学、1998)
- 苫米地行三 「公営競技収益金の 地方公営企業金融公庫への納付について」『地方財務』昭和45年6月号(ぎょうせい、1970)
- 中島克巳 「収益事業収入と都市財政 - 尼崎市の財政問題をめぐって - 」『八代学院大学紀要』第8巻(八代学院大学、1975)  
「都市財政の実態と財源拡充 - 尼崎市の財政問題をめぐって - 」『八代学院大学紀要』第9巻(八代学院大学、1975)
- 中島克巳 「都市財政と収益事業収入 - 尼崎市の場合 - 」『経済学論究』第29巻3号(関西学院大学経済学研究会、1975)
- 中村幸太郎 「救護法と家族制度」『社会事業研究』第20巻5号(日本社会事業大学社会福祉学会、1981)

- 野口悠紀雄 「『四十年体制』からの脱却を」『日本経済新聞』1993年8月15日付。  
「日本型システム改革の目標は一九四一年体制の打破」『月間Asahi』1993年11月号。  
「『一九四一年体制』の超克」『週刊ダイヤモンド』1994年1月1、8日合併号。  
「未来からの『戦後』評価を - 克服すべき四一年体制」『中央公論』平成7年3月号(中央公論社、1995)
- 萩野寛雄 「競馬事業における連続性」『早稲田政治公法研究』第66巻(早稲田大学政治学研究科、2001)。  
「スポーツ振興投票法の形成過程」(谷岡一郎、菊池光造、萩野寛雄編集『スポーツ振興くじ(toto)の研究』(大阪商業大学アミューズメント産業研究所、2002)所集)。  
「アメリカにおけるゲーミング」(財)社会安全研究財団、2003)
- 早瀬利雄 「大都市の公営ギャンブル廃止の動向 - 横浜市競輪問題調査会の答申をめぐって - 」『経済と貿易』No105(横浜市立大学経済研究所、1972)
- 原朗 「経済総動員」大石嘉一郎『日本帝国主義史3 第二次大戦期』(東京大学出版会、1994)収集。  
「日本の戦時経済 - 国際比較の視点から - 」『日本の戦時経済 - 計画と市場』(東京大学出版会、1995)
- ピエル・ロティ 「秋の日本」『世界教養全集7』(平凡社、1961)
- 土方義雄 「競馬廃止市町村に財源補填」『時の法令』昭和43年8月号(法令普及会、1968)
- 平野龍一 「刑事制裁の限界(上)(下)」『ジュリスト』NO475、8(有斐閣、1971)
- フェデリコ天塩 「日本競馬の歩み」連載各回『週刊競馬ブック』。
- 福山芳次 「敗戦と馬と競馬」『競馬法の変遷30年史』(日本中央競馬会、1992)収集。
- 藤井雅文 「地方公営競技の経営改善」『自治実務セミナー』(33-2)(良書普及会、1994)
- 古川安弘 「公営競技納付金制度の現状 - 実施二か年をみて - 」『地方財務』昭和47年8月号(ぎょうせい、1972)
- 増川宏一 「ギャンブルの社会史」(谷岡一郎、仲村祥一編『ギャンブルの社会学』(世界思想社、1997)収集)。
- 松浦正敬 「地方公共団体におけるギャンブル収益の現状と問題点」『地方財務』昭和50年8月号(ぎょうせい、1975)。  
「公営競技収益金の均てん化をめぐる問題点」『地方財務』(昭和51年12月号ぎょうせい、1976)
- 松本英昭 「公営競技納付金制度の改正について」『地方財政』第15巻6号(地方財務協会、1976)
- 宮塚利雄 「パチンコ」谷岡一郎、宮塚利雄編集『日本のギャンブル【合法編】~歴史・経済・法律・行く末~』(大阪商業大学アミューズメント産業研究所、2002)収集。
- 無記名 「公営競技と市町村財政」『自治実務セミナー』(7-7)(良書普及会、1968)。  
「地方自治シンポジウム 公営ギャンブル」『自治実務セミナー』(11-6)(良書普及会、1972)。  
「公営競技収入 - 財政運営のとしてのプラスとマイナス - 」『自治実務セミナー』(18-2)(良書普及会、1979)。  
「市営競輪場の中の売店設置者から使用料を取れるか 競輪場は行政財産か普通財産か」『自治実務セミナー』19巻3号(良書普及会、1980)。  
「ギャンブル税」『自治実務セミナー』(21-1)(良書普及会、1982)。  
「公営競技(一)(二)(三)」『自治実務セミナー』(24-10)(24-11)(25-1)(良書普及会、1985~6)。  
「公営企業金融公庫納付金」『自治実務セミナー』(32-10)(良書普及会、1993)
- 村松岐夫 「地方自治理論のもう一つの可能性 - 諸学説の傾向分析を通して」『自治研究』第55巻第7号(第一法規、1979)。  
「中央地方関係に関する新理論の模索(上)(下)」『自治研究』第60巻1、2号(良書普及会、1984)
- 持田信樹 「日本における近代的都市財政の成立(一)」『社会科学研究』第36巻3号(東京大学社会科学研究所、1985)。  
日本における近代的都市財政の成立(二)」『社会科学研究』第36巻6号(東京大学社会科学研究所、1985)
- 安田伊左衛門 「競馬百話」『東京競馬会及東京競馬倶楽部史』(長森貞夫、1937)
- 山崎巖 「救貧法要義」『社会福祉古典業書 五 田子一民・山崎巖集』(鳳書院、1982)。
- 山崎宏一郎 「公営競技の現状と問題点(競馬法改正のあらまし)」『地方財政』第7巻6号(地方財務協会、1968)。  
「公営競技収益金の配分の合理化について」『地方財務』昭和43年7月号(ぎょうせい、1968)
- 山下憲昭 「救護法の制定と実施」『大妻女子大学紀要』第26巻2号(大谷女子大学志学会、1992)

- 山野謙 「公営競技と地方財政」『自治実務セミナー』(31-12)(良書普及会、1992)。
- 山村瑛子 「ギャンブル型レジャー産業の会計学的研究 - 特にオートレースを中心として - 、『高崎経済大学附属産業研究所紀要』 第33巻第1・2号合併号(高崎経済大学附属産業研究所、1997)。
- 吉川末次郎 「無産政党の東京市政政綱に就いて」『都市問題』第14巻3号(東京市政調査会、1932)。
- 米倉誠一郎 「業界団体の機能」岡崎哲二・奥野正寛『現代日本経済システムの源流』(日本経済新聞社、1993)。
- 寄藤晶子 「競艇」(谷岡一郎、宮塚利雄編『日本のギャンブル 合法編』大阪商業大学アミューズメント産業研究所、2002)。
- 蠟山政道 「市営事業の経営に於ける収益主義に就いて - 大阪市長関一博士の所論を評す - 」『都市問題』第7巻4号(東京市政調査会、1928)。

その他の新聞・雑誌・ホームページ等については、本文中の各脚注を参照。